

令和6年度

病害虫発生予察情報

第 12 号

注意報第5号

北海道病害虫防除所 令和6年(2024年)7月10日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujosho/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

あぶらな科野菜のコナガが多発！

薬剤抵抗性個体の発生に対応した防除を心がけよう！

長沼町、北斗市及び芽室町の予察ほ場において、6月下旬からフェロモントラップへのコナガ成虫の誘殺頭数が平年に比べ多くなっています。また、予察ほのキャベツに寄生する幼虫の頭数も急激に増加しています。今後も気温の高い状態が継続すると、コナガの発生にとって好適な条件が続くものと見込まれます。

また、近年コナガに対して高い防除効果を示していたジアミド系薬剤の防除効果の低下も確認されています。そのため、異なる系統の薬剤によるローテーション防除を実施すると共に、適切な使用間隔を守り、防除を実施した後の効果確認に努め、防除効果が低いと判断された場合にはすみやかに他系統薬剤による防除を実施するなど、コナガの発生動向に対応した防除を徹底してください。

1. 発生地域 全道

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- 1) 予察ほ場におけるフェロモントラップへのコナガ成虫の誘殺頭数は、長沼町、北斗市及び芽室町で平年より多い(表1)。
- 2) 長沼町及び北斗市の無防除キャベツにおける幼虫の寄生頭数は平年より多い(表2)。
- 3) 札幌管区気象台より7月4日付けで発表された1ヶ月予報では向こう1ヶ月の気温は高いと予報されており、今後もコナガの発生に好適な条件が続くものと見込まれる。

4. 防除対策

- 1) 防除にあたっては、複数系統の薬剤を用いたローテーション防除を実施する。防除実施後には適宜防除効果を確認し、コナガ幼虫の寄生が目立つ場合にはすみやかに他系統薬剤による防除を実施する。
- 2) ジアミド系薬剤の使用は、感受性低下を防ぐため1世代1回以内とする。ジアミド系薬剤の使用間隔は、7月は全道共通で25日、8月は道東地域では30日、その他の地域では25日以上あけることが推奨される。

表 1 フェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺頭数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6 月 4 半旬	19	25.8	22	19.3	41	22.6	6	2.9	0	4.7
5 半旬	14	31.9	2	14.5	84	20.3	4	3.0	2	4.3
6 半旬	63	37.0	11	16.0	249	31.0	9	3.2	5	3.5
7 月 1 半旬	51	42.3	2	15.6	351	52.5	29	5.1	5	4.1

注) 設置場所はあぶらな科野菜ほ場。ただし芽室町はあぶらな科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

表2 予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6 月 4 半旬	93	27.6	24	16.8
5 半旬	158	56.6	29	29.0
6 半旬	212	132.0	28	25.3
7 月 1 半旬	520	109.4	92	35.5

注) 10 株あたりの寄生虫数